桜梅桃李

大島町立第一中学校
２学年 学年通信
R4.6.9　第 19 号

防災教育フィールドワーク

一中では、東京都立大学と大島町防災対策室とタイアップして、2 年生に防災教育を実施しています。今年度も 6 月 2 日（木）にフィールドワークを行い、平成 25 年 10 月 16 日に発生した台風 26 号の土砂災害により被害を受けた大金沢周辺を散策しました。フィールドワークのスタートは三原山外輪山の中腹から麓を見下ろし、土砂が流れたルートを地図と見比べながら観察しました。その後、メモリアル公園でバスを降り、大金沢沿いを元町橋まで歩きました。班ごとに「フィールドワーク地域全体の地形と風景について」「防災構造物について」「大金沢沿いの現在の植生と建物・土地利用」「大金沢の河川整備」の 4 つのテーマに分かれ、見るポイントを絞ってフィールドワークを行いました。それぞれの班には、都立大学の大学生・大学院生と防災対策室の方が付いてくださり、班行動をしながら観察するポイントを説明していただきました。実際に歩いてみたことで、９年経ってもなお残る土砂災害の爪痕や回復しつつある植生、また今後二度と同じ被害が出ないよう建設された防災構造物の仕組みや役割など、生徒たちは興味深く学んでいました。また、フィールドワークの途中には、Youtube の撮影で来島していた江頭 2:50 さんが激励に来てくれました。

フィールドワーク実施後は、大金沢周辺の地図に、班ごとに異なるテーマに合わせて撮影した写真とその説明書きを貼り付けた「点検マップ」の作成を行いました。都立大学の学生さんや役場の防災対策室の方々に教わりながら真剣に取り組んでいました。「点検マップ」の作成後は、まとめのパワーポイント作りを行いました。今回実施した防災教育は、フィールドワークで終わりではなく、フィールドワークを通して学んだことを班ごとにパワーポイントにまとめ、７月１９日（火）に役場で発表するまでが防災教育となっています。発表会当日は都立大学の先生や学生さん、役場の防災対策課の方々なども見に来てくださる予定です。現在、理科の授業などを使い、パワーポイントの作成や原稿の作成などを班ごとに進めています。パワーポイントをまとめていると、フィールドワークでは気付かなかった新たな疑問が出てきたり、友達からのアドバイスで分かった新しい発見などがあったりするようで、深い学びとなっています。発表まであと１か月ありますが、パワーポイントと原稿の改良や発表練習などを重ね、発表会本番に臨んでほしいと思います。